那那那那那那那那那那那那那那

三友会だより

第53号

平成 2 3 年 1 月 2 6 日発行 宮崎市神宮西 1-49-1 TEL: (0985)32-2234 http://www.sanyu-kai.jp/ 発行者 石川 智信

ほら 行くよ

石川智信

「ほら、い・く・よ!」。あまりの寒さに躊躇している私を尻目にさっさと歩きだす。 「あー気持ちいい」。寒風が顔を刺すのも全く意に介さず、我が家の御姫様は正月早々お散歩である。慌てて杖を握る手に手袋をはめてやる。麻痺した右手をジャンパーのポケットに収め、お気に入りの帽子を被り、遠くを見据えながら歩く姿は中々様になっている。上着の襟を閉じ、背中を丸めていかにも寒そうに歩く私とは対照的である。

今年も生きて新年を迎えることができた有り難さを、一歩一歩踏みしめる足裏の感触で確かめているのだろう。「ありがとうって伝えたくてー」と、歩くリズムに合わせながら、いきものがかりのヒット曲を口ずさんでいた。退院して間もないころよく散歩していた平和台の散策コースを、久しぶりに歩いてみた。以前は90分かかっていた道のりを60分で歩いた。「すごいねー」と、今年もはちきれんばかりの笑顔から新年のリハビリは始まった。昨年の秋、妻よりも1つ若い女性が亡くなられた。妻と同じくクモ膜下出血で倒れ、同じように奇跡的な生還を果たした彼女は久しぶりに帰郷し、ご両親の下でリハビリを続けていた。外来に来られた際に、「万佐子先生の頑張る姿は私に勇気をくれます。私も頑張らなくては」と言ってくださったわずか1カ月後、階段から転落されたという。手足の麻痺はほとんどなかった彼女だったが、高次脳機能障害による失認により階段を踏み外したのだろう。失意のどん底にあるはずの彼女のお母様は涙を流されながら述べられた。「大学に進学して以来、久しぶりに我が家に戻ってきたのに、わずか半年でした。でも天使と暮らしていたような、それは素敵な日々でした」。同じクモ膜下出血で40代の若さで急死したご主人の下に、天使となって旅立ったのであろう。その前に、ご両親にありがとうと伝えるために帰郷されたのかもしれないと、今は思う。

過酷な運命を生きた彼女であるが、最後に外来で見せた無邪気な笑顔が、妻の笑顔と重なって見える。そしてお母様の言われた「娘は天使でした」との言葉の意味も痛いほどよくわかる。昨年の春の三友会便りに著した「天使が舞い降りた」で、私も同じことを書いている。天使の笑顔は、きっと残されたご家族の心に灯りを灯し続けて下さると信じている。人の運命は誠に不公平であり、不条理であると思う。有無を言わさずに突然襲い掛かる運命の激流に対して、人はなす術を知らない。その圧倒的な力の

前にただ立ち尽くすのみである。しかし生き残った者は再び運命の 奔流に押し流されるまでの時間を、必死に生きていかざるを得ない。 振り返るのは最後でいい。淡々と前を見て生きるしかない。

「ほら、い・く・よ!」。「はい、はい」。今の思いを交感できる有り 難さに感謝しながら、今年も妻との散歩道を楽しみたいと思う。

ネコのはなし

いしかわ内科医師 山縣 美奈子

猫党か?犬党か?と問われると少々困るが、今はやはり猫党である。

15年前のあの日から犬党から猫党に変わったように思う。幼い時から当たり前のように 犬が存在し、兄弟のように庭を走り回って遊んでいた。大学に入学する年まで、絶えるこ となく犬がいる家だったが、ある夏帰省すると猫のいる家に変わっていた。

その頃私は強いネコの毛アレルギーで、鼻水・涙はもちろんのこと、蕁麻疹が全身に出て、時には咽頭も腫れる程だった。猫は正直苦手だった。

それが15年前の深夜、仕事から帰宅すると玄関の前に白い小さな物体が…。小さな猫が チョコンと座り、大きな涙目で私を見上げていた。運命の出会いだった。

理由はない。ネコアレルギーの私が自分の猫と暮らすことになった。

犬と全く違い、クールで気まぐれな猫にとまどったが、アレルギー症状が少しずつ軽くなっていくと同時に猫に魅了されていった。猫が愛情深く非常に頭がよく知性のある動物であることがわかってきた。そっぽを向いていたかと思うとそっとやって来てピタッと体を寄せてくる仕草、そっとなでるとゴロゴロと低い音色で癒してくれる。愛らしい寝姿。豊かな表情。外出から帰って玄関のカギを開けようとすると中から「たたっ、たたっ」と足音が聞こえてくる。そして玄関にお座りしてつぶらな瞳が見上げ出迎えてくれる。たまらない。

猫は芸術家の心をとらえてしまうのだろうか。数多くの画家や作家に愛され魅了し、絵画や小説に登場している。

まず藤田嗣治が思い浮かぶ。有名な乳白色の肌をした裸婦像には必ずといってよい程、猫の姿がある。画室にモデルがいないといつも猫を描いていたそうだ。

竹久夢二(猫のように愛されたいと願った)の『くろねこ』。猪熊弦一郎は「写生は不要」 と頭の中に住み着いた猫を描きとめていたという。シャルダンの珍しいモチーフの猫達。

夏目漱石は日本で初めて知性をもった猫を書いたといわれている。谷崎潤一郎、室生犀星、幸田文、佐藤春夫(食べ物の好みまで似てくる程親密な関係だったとか)、内田百聞、三島由紀夫は書斎机の引き出しにいつも煮干しを入れていたそうだ。アーネスト・ヘミングウェイはカリブに猫王国を築いたなどなど。

私も我が家の猫達の健康を願いつつ、少々迷惑顔の猫達をパシャパシャと写真に撮り満足している。





三友会だよりに「コラム」欄をもうけていただき、毎号に少しづつ書いてみたいと思います。まず最初は、国内で有名な観光地は誰が作って、どうして作られたのかということを少しのべてみたいと思います。(宮崎交通株式会社社内報「無尽灯」参考)

もう故人になりましたが、宮崎交通の社長を永年された方で宮崎観光の父といわれた岩切章太郎という方が居まして、現在の観光地はほとんどこの人が作ったと言っても過言ではない程、日本中に宮崎ブームを作り上げた方です。「大地に絵を描く」というのが氏の夢で、次つぎにその夢を実現して現在の大観光地が作られていったのです。

いい観光地というものは

- 1. 天然の美
- 2. 人工の美
- 3. 人情の美

この三つが信条で

- 1. 知らせる
- 2. みせる
- 3. また来たいと思わせる



ということになって成り立つものであるといわれました。まず宮崎観光の拠点作りは、ホテル街の整備と、大淀河畔に宮崎観光ホテルという県一のホテルを建て、お客の受入の万全をはかり、河畔を公園化してそこに宮崎県では初めてという「フェニックス」を植えて、テーブルテントを備えた立派な公園が出来上がりました。余談ながらノーベル文化賞を受けた文豪「川端康成」氏がこのホテルに泊まって書いた「たまゆら」は、フェニックスの葉陰に沈む大淀川の夕日に感激して書いたといわれています。この作品は映画化され、全国に宮崎ブームを巻き起こしたのはあまりにも有名です。

次は大地に絵が描かれた第一号の「子供の国」に移りましょう。

一次号につづく一



筆者紹介

山口さんは、現在当院デイケア(通所リハ)をご利用されている方です。「私の手を握ってください一広島・原子野を生きて(鉱脈社)」という本も執筆されています。次号のコラムもお楽しみに!

精集:「禁煙」

それでもあなたはたばこを吸いますか?

いしかわ内科副院長 松本 武敏

1990年代にイギリス政府は、たばこの値段を毎年上げる政策を取りました。その結果、10年後に、たばこの消費量は、三分の一になりました。たばこの功罪については、1994年、そして2004年にBritish Medical Journal に掲載された、ドール博士の論文で決着はついています。1951年に始まった34439名の医師を対象とした前向き研究は、喫煙者が非喫煙者よりも10年早く死ぬこと、70歳以前の死亡率は2倍であること、90歳まで生きられる人は三分の一であることなどをはっきりと示しました。そしてまた、40歳で禁煙すると寿命が9年延びること、50歳ならば6年、60歳ならば3年と、禁煙による効果もまた、証明したのです。

警告表示をきちんとしてあれば、理解力のある大人は危険性をわかった上で喫煙します。 喫煙することが法律上許されている大人の方々の喫煙する自由を奪う気などわれわれ医師 にはありません。ただ、正確に危険性を知らされずに騙されたかのように喫煙させられて いる今の日本の現状に、医師として、特に呼吸器を専門とする私としては、政府の取り組 み方の誤りを指摘せずにはいられません。

以前から私は、「禁煙」と「分煙」と「防煙」を分けて議論するようにしています。個人の禁煙は、個別の対応が必要ですし、仲間への分煙は、エチケットとしても重要でしょう。 九州電力の産業医をするようになったきっかけも、たばこのことでした。そして、未成年 者への防煙こそ、例え、たばこの製造や販売に関わる方であっても、一致協力して大人が 行っていかねばなりません。

縁あって、平成 16年3月から関わっている熊本県波野村(現在は阿蘇市)での子供たちへの「防煙教室」は7年目を迎えます。今年も2月7日と21日に5つの小学校を回ります。非常に熱心な保健師さんたちとの共同作業は、最初に私がたばこの害についてお話して、次に保健師さんが、紙芝居風にたばこの依存性について説明します。そして、最後に、再び私が、受動喫煙の害について触れるというシナリオで行っています。

昨年阿蘇市役所に行った際に、保健師さんから、最初の授業を聞いた中学生で成人した 波野出身の若者たちが、皆、たばこを吸わずにいるという話を聞いてとても嬉しくなりました。やはり、継続は力なりだと実感しました。世代が交代するまでまだまだ時間はかか りますが、地道に「無煙世代」(無縁社会はいけませんが)を育てていきたいと思っています。

次ページは、平成22年7月に「熊本県阿 蘇市立古城小学校」で禁煙の授業を行った 際に、子ども達から感想文をもらい、その 一つを掲載させていただきました。

楊惠:「甍屋」

平成22年7月12日(月)5時間日 5・6年生

きつえんほう しきょうしつ 喫煙防止教室の感想

舖(尾崎 新东

)

今日の中契煙防止教室は別バコについて のことがたくさん分かりました。タバコをすりと 肺がンなどの病気にかわるということか分かり あぶない物のわるいものだと分かりました。 先生に話してもらったのでせっかくだからお父さ んやお母さんにも話をしてあげたいなと思い ました。10本では、まていない自分でも1本すった ことになると初めてしりました。タバコをおこと によって月市にもえいきょうか、て、て周りにといる 人達にも悪いえいきかをあたえることが② MAICANSAI ではないと思いました。大人にひって 人からさそれれても絶対に今日の 免が強を思いだしのい フをすわないよう にはたいても絶対にかつはあない

各部署紹介



昨年は日頃のコミュニケーションの大切さを強く感じる年でした。今年は患者様との会話を大事にし、笑顔あふれる受付であるよう精進して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。 (受付)



新年あけましておめでとうございます。昨年は新しいスタッフも加わり、バタバタと1年が過ぎました。 今年は昨年以上にチームワークを大事にし、他の部門と連携を取りながら質の高いリハビリを行いたいと思います。 (リハビリ)



今年も常に利用者様、御家族の方々に寄り添う心を大切にしてスタッフ一同新しいことにトライして行きたいと思います。 (祇園デイサービス&院長)

寒空の中、ヒートテックとカイロをみにつけて、 薄着で頑張っております。

本年は、各部署と密に連携をとりながら皆様に、 明るい笑顔を届けていきたいと思います。今年も よろしくお願いします。 (外来)



よりよいデイケアが運営でき、皆様に満足していただけるように職員一丸となって取り組んでいきます。足りない事も多いと思いますので、本年も皆さまからのあたたかいご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。 (デイケア)



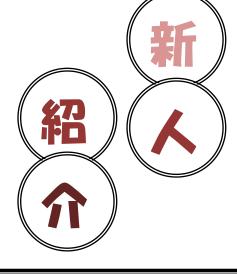
皆様に満足して頂ける食事づくりを目標に、職員一同頑張っていきます。今年も宜しくお願い致します。 (厨房)





いしかわ内科 受 付 岩切 真由美

H22.10 月から受付にて勤務しています。とても明るく楽しいスタッフたちとベテランな先輩方にご指導していただき日々成長して行きたいです。笑顔を忘れずに頑張ります!よろしくお願いします。





いしかわ内科 看護師 藤岡 歩

昨年 11 月 22 日より外来勤務しています。まだ不慣れな事も多くご迷惑をおかけするかもしれませんが、頑張りますのでよろしくお願いします。



いしかわ内科 介護福祉士 籾田 尚美

昨年11月よりデイケアで介護福祉士として勤務させて頂いています。

年女36歳。長崎県出身ですが、宮崎県在住17年になり宮崎弁の方がしっくりきます。ストレス解消法は、週1回のバドミントンと主人と2人で飲む毎晩のビールです。少しでも皆さんの力になるよう頑張ります。

よろしくお願いします。



祗園デイサービス 姫野 利栄子 ___

昨年11月から祇園デイサービス センターで働いています。介護の 仕事から4年離れていましたが、 又、初心にかえり一から頑張りた いと思います。



祗園デイサービス 西橋 いく子

昨年の11月に入社しました。 笑顔でパワフルに頑張りますので 宜しくお願い致します。

いしかわ内科文化祭

平成21年11月3日の文化の日に、いしかわ内科文化祭が開催されました。 午前中は、坂中浩子さん・明子さん親子に講演をしていただきました。

坂中さんは最愛のお嬢様が医療事故にあわれ、全身麻痺となり、車椅子の生活を余儀なくされました。その後、お嬢様は重度の障害を持ちながらご家族や周りの方々の支えで、現在は一人暮らしをされています。また、ピアノも教えているとの事でした。

講演では、お母様の思いや葛藤、明子さん自身の気持ちの変化など、筆舌に尽くしがたい 感動をいただきました。

坂中さん親子は、「ひとさし指から奏でるしあわせ」という本を出版されいますので、もし興味のある方は、読んでみてはいかがでしょうか。







上:坂中さん親子 左:坂中さん親子が 出版された本 (新水社 発行)





ピアノを教えている坂中さん









2階では、デイケア利用者の作品を多数展示しました。どの作品も力作揃いです。

3階では、万佐子先生のピアノ演奏や ハンドベルの演奏があり、利用者の 方々も大変楽しい一時を過ごしまし た。その後、当デイケアにボランティ アで関わっている方々に、院長より感 謝状等を送らせて頂きました。本当に ありがとうございます。

いしかわ内科 もちつき大会



年末恒例のいしかわ内科もちつき大会が 行われました。

あいにくの天気でしたが、もちつきの際は、雨も降らず、無事終わりました。毎 年思う事ですが、利用者の方々の餅をち

ぎったり、丸めたりする 技術は大したものだと 感心します。



【編集後記】

今年は、いつで続いていてが続いていてが続いていた。 おいてが続いではいいではでいた。 おいでででででいた。 かがいたがいがいででででいた。 からいたがいないででででででででででででででででででででででででででででいる。 からいたいは、年いのではいいにいます。(甲斐)